

# 船舶事故調査報告書

令和元年5月22日

運輸安全委員会（海事専門部会）議決

|             |   |
|-------------|---|
| 事故種類        | のり養殖施設損傷  |
| 発生日時        | 平成31年1月12日 06時12分ごろ   |
| 発生場所        | 香川県土庄町小豊島北方沖<br>唐櫃港B防波堤西灯台から真方位084° 1.3海里付近<br>(概位 北緯34° 29.7′ 東経134° 07.4′)  |
| 事故の概要       | プレジャーボート裕次郎丸Ⅱは、南南東進中、のり養殖施設に進入し、のり網が損傷した。   |
| 事故調査の経過     | 平成31年1月25日、主管調査官（広島事務所）を指名<br>原因関係者から意見聴取実施済  |
| 事実情報        |   |
| 船種船名、総トン数   | プレジャーボート 裕次郎丸Ⅱ、6.1トン  |
| 船舶番号、船舶所有者等 | 271-39381岡山、有限会社ヤマスイ物流  |
| 乗組員等に関する情報  | 船長、一級小型・特殊・特定   |
| 負傷者         | なし  |
| 損傷          | 本船 なし<br>のり養殖施設 のり網に破損  |
| 気象・海象       | 気象：天気 曇り、風向 北北東、風速 約2m/s、視界 良好<br>海象：海上 平穏、潮汐 下げ潮の末期<br>日出時刻：07時11分ごろ   |
| 事故の経過       | 本船は、船長が1人で乗り組み、知人2人を乗せ、南南東進中、船長が、仲間のプレジャーボート（以下「先行船」という。）の後ろをついて行けば良いと思い、GPSプロッター及びレーダーを見ずに航行を続けたところ、先行船に続いて「小豊島北方沖ののり養殖施設区域」（以下「本件施設」という。）に進入し、プロペラ翼がのり網に接触した。 |
| 分析          | 本船は、南南東進中、船長が、先行船の後ろをついて行けば良いと思い、航行を続けたことから、先行船に続いて本件施設に進入し、プロペラ翼がのり網に接触し、のり網が損傷したものと考えられる。   |
| 原因          | 本事故は、夜間、本船が、南南東進中、船長が先行船の後ろをついて行けば良いと思い、航行を続けたため、先行船に続いて本件施設に進入し、プロペラ翼がのり網に接触したことにより発生したものと考えられる。   |
| 再発防止策       | 今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。<br>・先行船を安易に追従することなく、GPSプロッター等を活用して船位及び養殖施設の位置を確認し、養殖施設区域内を航行しないこと。   |